

目指すところ

(47 号 2015 年 4 月 30 日)

新しい年度を迎え、新チームがスタートしました。それぞれのチームにはそれぞれの目標があり、みなさん意欲に燃えておられることと思います。

さて、その目標は誰が作っているのでしょうか。監督、コーチが選手に示しそれをチームの共通目標としているのでしょうか。それとも、監督、コーチが選手と話し合い目標を決めているのでしょうか。

自分の今までを振り返ってみるとそんなに立派なことをしてはいなかったような気がします。でも今考えると、チーム作りの話し合いをもっと大切にしておけば良かったなあと振り返るわけです。

優勝を目指す、ひとつの勝利を目指すはもちろん大切な目標となることでしょう。また、チーム力の向上として、みんなの協力、助け合いなどを意識化させることも大きな目標となりますね。同時に、スポーツをする人間として社会的にも立派な人になろうという一段大きな目標も設定できますね。

ここで、山口県ミニバスケットボール連盟としての目標も皆さんにお伝えし、ご理解とご協力をお願いしたいと思います。このことは 4 月の理事会でもお話したことであります。

先ず第一には、このミニバス活動に参加している全ての子供たちがバスケットボールを楽しんで欲しいということです。楽しむことは子供たちの権利でもあります。子供たちはこのミニバス活動に大きな期待をもって参加をしています。「楽しさ」の追求にはいろいろな段階がもちろんあります。よりレベルの高い楽しさをどうか全ての子供たちに味わわせてほしいと願っています。これこそ指導者の腕の見せ所でもあります。

次にお願いしたいことは、このミニバス活動を子供たちの心と体の成長につなげてほしいということです。ミニバスは単なる運動ではありません。このミニバス活動をとおして、子供たちは様々なことを学び、心も体も大きく成長します。指導者のみなさんの人生経験に基づいた「人として大切なこと」をどうか遠慮無く子供たちにぶつけてください。ミニバス活動をすることが子供たちの健全育成につながっていくことを願っています。

こちらからお願いばかりしました。でも、これらのことはもうすでに皆様方には十分ご理解できていることばかりだと思います。

勝利を目指し、その実績をあげることは指導者としてももちろん立派なことです。でも、勝ち負けよりももっと大事なことがあることに気づき、日々それを大切にしながら子供たちに接していくことは指導者としてもっともっと素晴らしいことであります。

なぜなら、私達大人の言動は子供たちの人生に大きな影響を与えるからです。

今年度も共にがんばっていきましょう。